

情報処理実習

第12回: 実践の応用

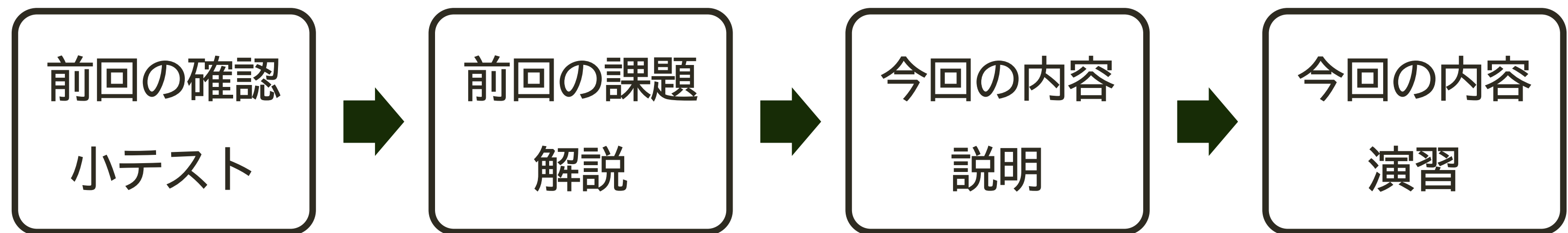
担当: 佐藤

2018年12月10日(月)

アナウンス

- 授業前にやること
 - 計算機にログオン
 - CoursePowerにログイン
- 注意事項
 - 教室内飲食禁止
 - 原則として，授業中ではなく休み時間にトイレにいきましょう

授業の進め方



基本事項の確認小テスト

制限時間: 5分

- ① CoursePowerにログインして，すぐに解答が始められるよう準備する
- ② 開始の合図があるまで，解答を始めずに待機する

注意

「閉じる」ボタンは決して押さないこと!

説明事項

2018年12月10日(月)

学習内容の振り返り

講義回	学習内容
1	【イントロダクション】プログラミングの概念, 開発環境Visual Studioの使い方
2	【C言語の基本】コードの基本, 数値データを入力し結果を画面に出力するprintf(), データ型
3	【変数】変数の型宣言, 値の代入, 変数の利用, 式と演算子, 数学関数
4	【キーボードからの入力】キーボードから数値データを入力するscanf()
5	【条件分岐】if文, if-else文, switch-case文, 関係演算, 論理演算
6	【繰り返し処理】for文, while文, do-while文, break文, continue文
7	【配列】たくさんのデータを一括して扱う方法
8	【自作関数】関数の定義と呼び出し, 引数と戻り値, グローバル変数とローカル変数
9	【文字処理】プログラムで文字を扱う方法, ASCIIコード
10	【文字列】文字列と配列, 文字列操作関数
11	【ファイル入出力】データのファイルへの保存とファイルからの読み出し
12	【実践的応用】これまでの知識を応用して小規模なアプリケーションを開発
13	【構造体】データをまとめて管理する
14	【発展的内容】再帰処理(ハノイの塔)と乱数(モンテカルロ法)
15	【まとめ】

シラバスの第14回
(以降の回は1つずつ後ろにずれる)

変更

今回の趣旨

- 小規模なアプリケーションの開発を通して、これまでの学習内容の定着を図ると共に、実践的なプログラム開発において不可欠な次の2つの素地を涵養する
 - ① 学習内容を適材適所で使い分ける能力
 - ② 学習内容を組合せて高度な処理を実装する能力

課題



2018年12月10日(月)

レポートの作成

- ① レポートの冒頭に以下を適切なレイアウトで書く
 - 「情報処理実習第12回課題レポート」というタイトル
 - 学生番号
 - 氏名
- ② 課題ごとに以下を載せる
 - 作成したプログラムのソースコード
 - 作成したプログラムの実行結果を示すコマンドプロンプトのスクリーンショット
- ③ 完成したレポートをCoursePower上で提出する

提出〆切: 18:30